

伝わらなければ
存在しない。
つながらなければ
支え合えない。



日本ライオンズ70周年記念事業

T2プロジェクト

伝えるTutaeru – つなぐTunagu

70周年記念事業開催の趣旨及びテーマの意義

日本に初めてライオンズクラブが誕生(東京LC)してから本年で70年です。この記念すべき年を節目として、日本のライオンズクラブを次の75年～100年と持続可能に発展させるべく日本ライオンズ(8複合)統一事業を「キックオフ」いたします。

テーマの意義

もっと伝える

せっかくの奉仕活動も伝えなければ誰も知り得ません。クラブ内も地域社会へも伝える重要性を再認識して、情報を発信し共有しましょう。

もっとつながる

コロナ禍でコミュニケーションの機会は激減しています。人と人をつなぐ、心と心をつなぐ、人と地域をつなぐ、つながれば互いに支え合う事が可能となり、奉仕活動の絆はさらに高まります。

2022年スケジュール

11月 1日(火)10:00	「キックオフ宣言」アクティビティ・各種SNSでの活動開始 重点事業内容「環境・循環」以外の新規取り組みも開始
11月19日(土)00:00～24時間	「各地区の結果集計」
11月30日(日)	「全国のメディアに向けて成果発表、後日コンテストの結果発表」



1.事業概要

- 1 日本のライオンズクラブ(2,801クラブ・99,500名)が同時期に一齐に奉仕活動をスタートさせ、あらゆるメディア(マスコミ・SNS・ポスター・チラシなど)でクラブ内外に情報発信し、全国の仲間に呼びかけ拡散し、ライオンズクラブの存在を国内に再認識してもらう。
- 2 奉仕活動は各種SNSに投稿し、その成果を全国に発信。ライオンズクラブの存在価値を高め、共感してもらい、会員拡大にもつなげる。
- 3 次年度以降もT2プロジェクトは継続し、複合・準地区・クラブにて推進することにより、持続可能な奉仕活動の意義を深め、将来の夢と希望に繋ぐものとする。

解説 1 日本のライオンズはライオンズクラブのブランディング化に力を入れています。これまで日本のライオンズクラブが一齐に事業を行い、それを一齐にPRした事はありません。初の試みです。成功させて日本中に大きなインパクトを与え共感を呼びましょう。

2.推進したい重点事業内容「環境・循環」

- 1 日本のなるべく多くのクラブが同時期に一齐に奉仕活動をスタートさせる事を十分に配慮し、取り組みやすいテーマである「環境・循環」とします。
- 2 新規・既存は問いませんので、クラブでのアクティビティとSDGsを連動させた活動の様子をSNSにアップしてください。
- 3 活動の成果をマスコミに発表してライオンズクラブの存在価値を高め、地域の皆さんに共感してもらいたいと考えています。
- 4 SDGsへの理解は今後のライオンズ活動において必ず必要となります。ライオン・ノンライオンを問わず、メンバーから家族へ、所属する会社へ、友人知人へ、どんどんその輪を広げてください。
- 5 事業は複合・準地区・クラブ単位でスタートして行えますし、メンバー個人としても参加可能です。判断はそれぞれの準地区にお任せします。
- 6 事業の様子は後日ご報告を頂き、コンテストとして表彰も考えます。
- 7 次年度以降もこの事業はそれぞれ継続なさって居る清掃活動と組み合わせて、是非ご活用ください。これによりマンネリに陥りやすい長年続いている奉仕活動の意義を深め、将来の夢と希望に繋ぐものとして頂ければ幸いです。

3. 重点事業以外の奉仕活動

- それぞれのクラブで予定しておられる事業や新規事業を、11月1日からのこのプロジェクトに当てはめて推進していただく事も可能です。但し、あくまで新規事業をT2プロジェクト「伝えるTutaeru-つなぐTunagu」を意識して立ち上げてください。
- 大変時間がない状況での取り組みとなりますが、出来るだけ11月1日にスタートさせて下さい。
- 奉仕活動分野の何を取り上げられても結構ですが、以下の点をご注意ください。SDGsとの紐づけを必ずなさってください。また、あらゆるメディアを使って情報の拡散をお願い致します。また、タイトルに「日本ライオンズ70周年記念事業T2プロジェクト」と謳ってください。
- 11月1日までに取り組む事業概要書を所属するキャビネットに提出し、実施してください。
- 11月20日には成果をデータ化してキャビネットに成果を報告願います。
- キャンペーン終了後も引き続き事業を続けていただき、更なる成果上げられますことを期待します。

事業開始フロー

- 1 8複合議長は直ちに所属準地区ガバナーへ本事業への参加を呼び掛ける。
- 2 準地区ガバナーは直ちに地区所属クラブへ本事業への参加を呼び掛ける。

大変時間の無い中での提案になった事を心からお詫び申し上げます。何としても年内に70周年のキックオフに漕ぎ着けたく、踏み切った事情をお汲み取り下さい。制約された時間の中で如何に集中して新しい奉仕事業を取り組めるかの挑戦は、新しい芽を育むと同時に、日本ライオンズの心意気を示すものとなればと願います。